

17238MT

2018年2月14日

**創立120周年記念日2月25日（日）から特別ラッピング列車「京急120年の歩み号」を運行
京急大師線において歴代の京急車両のカラーリング（4デザイン）が復活します
昔の沿線写真や当時の広告まで展示！車内では京急120年の軌跡をご覧いただけます**

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区 社長：原田 一之、以下 京急電鉄）では、創立 120 周年記念日である 2018 年 2 月 25 日（日）から、京急大師線において、歴代の名車のデザインを施した「京急 120 年の歩み号」の運行を開始します。

この車両は、現在は運行していない大正時代や戦後に活躍した車両から、現在主流となっている赤白基調のデザインまで、歴代の京急車両のカラーリング（計 4 デザイン）を 1 編成（4 両編成）の電車に再現しており、約 1 年間、前身である大師電気鉄道“発祥の地”である京急大師線（京急川崎～小島新田駅間）で主に運行を予定しております。また、車内窓上部分ではそれぞれの車両デザインが使用された時代を中心に、当時の写真、広告およびきっぷなどを展示して、京急の歩みやその時代の当社グループ、沿線地域の移り変わりを紹介していきます。

京急電鉄では創立 120 周年を盛り上げていくために、今後もさまざまな企画を行ってまいります。

詳細は別紙のとおりです。



← 小島新田駅方面

京急川崎駅方面 →

京急大師線を運行する「京急 120 年の歩み号」イメージ



2100 形



1500 形



500 形



デ 51 形

	2100 形	1500 形	500 形	デ 51 形
カラー	赤・太い白帯	赤・細い白帯	赤・黄色	赤茶色
使用車両	新 1000 形 2100 形など	1500 形 800 形など	500 形など	デ 51 形
使用期間	1978 年～現在	1953 年～現在	1951 年～1963 年	1924 年～1965 年

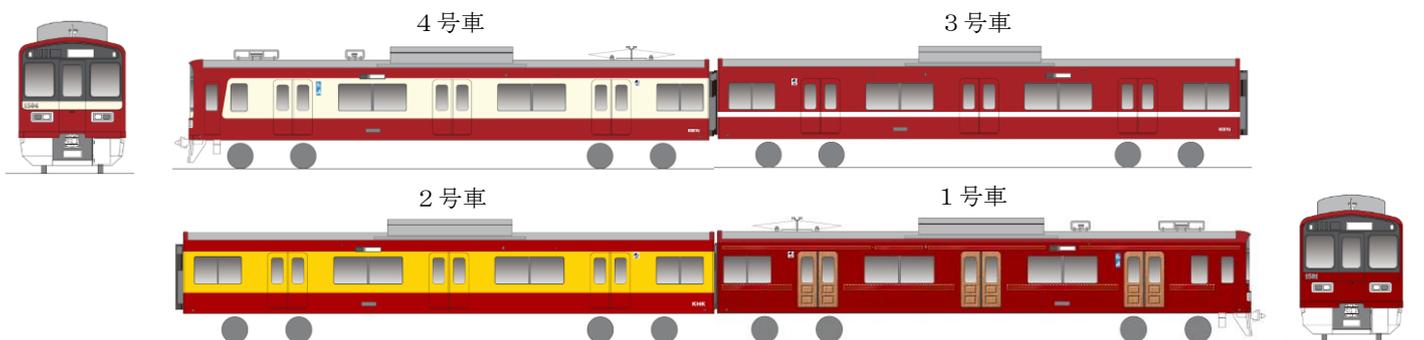
「京急 120 年の歩み号」の運行について

1. 運行期間 2018年2月25日（日）～2019年2月24日（日）
※運用の都合上、運行しない日もございます。
2. 運行区間 京急大師線 京急川崎～小島新田駅間
※運用の都合上、本線を運行する場合がございます。
※ホームページで運行時間を公開いたします（大師線運行時のみ）。
3. 使用車両 1500形（車号：1521～）4両編成
4. 概要

(1) 車外ラッピング

車両ごとに歴代の京急車両で採用されていたデザインをラッピングで復元いたします。

※3号車については既存の1500形と同様デザインのため、ラッピングは施していません。



■ 1号車（デザイン使用期間：1924年～1965年）

1924（大正13）年に登場したデ51形の塗装をイメージ。半鋼製電車のデ51形の特徴でもある、木製の扉もラッピングで表現いたします。デ51形は晩年、大師線等で活躍し1965（昭和40）年に廃車となりました。なお、京急創立80周年事業の一環として1978（昭和53）年に復元され、現在も京急ファインテック久里浜事業所内に静態保存されています。

■ 2号車（デザイン使用期間：1951年～1963年）

1951（昭和26）年に登場した500形（1986（昭和61）年に廃車）などの車両に施されていた赤・黄色の塗装をイメージ。この塗装は他の形式の車両にも施されましたが、1963（昭和38）年に全形式の車両が赤・白帯に統一されました。

■ 3号車（デザイン使用期間：1953年～現在）

1953（昭和28）年に登場した初代600形で初めて採用されたデザインであり、現在でも1500形や800形など多くの車両に使用されております。

■ 4号車（デザイン使用期間：1978年～現在）

赤・太い白帯のデザインは、1978（昭和53）年に登場した800形（当時）から採用されました。今回の車両には1982（昭和57）年デビュー当時の2000形や現在の2100形などに採用されているデザインをラッピングしております。

(2) 車内装飾

車内の窓上や中吊りにおいて、京急創立120周年までの歴史をご紹介します。

- ・「京急の歴史」創業当初から現在までの路線・車両の移り変わりやエピソード
- ・「沿線今昔物語」沿線の駅舎の過去と現在の姿とエピソード
- ・「歴代の広告・きっぷ」ポスターや昔のきっぷを紹介
- ・「京急の豆知識」京急電鉄にまつわる豆知識

※大師線沿線の幼稚園・保育園の子供たちが描いたイラストも展示いたします。